

市の人口
(昭和56年4月1日現在)

世帯数 48,183世帯(前年比7.7世帯増)
人口 153,649人(前年比5.8人減)

男 76,784人
女 76,865人



4/21

昭和56年
(1981年)

第555号

発行 宇治市
編集 文書広報課
宇治市宇治院野33番地
電話 3141(代)
●毎月1日・11日・21日発行

財政自主再建計画を達成し健全財政へ

2カ年短縮して赤字解消

宇治市では、昭和52年12月に財政自主再建計画を策定。53年度から5カ年計画で赤字財政の自主再建を進めてきましたが、55年度末で、累積赤字を解消したうえ、約1億6,200万円の実質黒字になる見込みです。こうして、計画期間を2カ年短縮することになり、将来に明るい展望を開きました。

自主再建計画のあゆみ

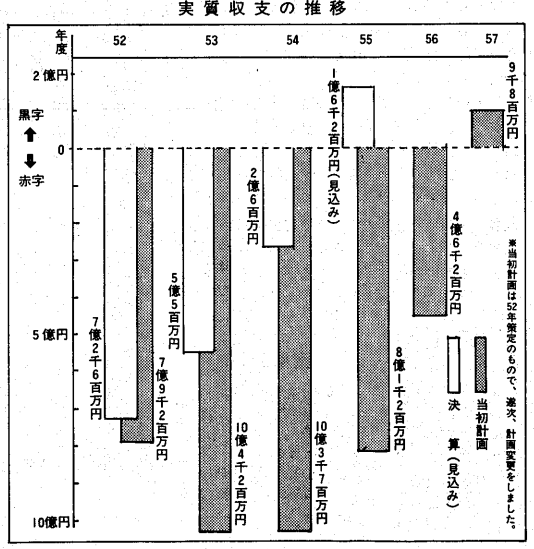
宇治市は四十二年に、財政再建の第一歩を踏み出した。四十二年の計画的な削減、四十四年度の四十九年度以降は、再建の急務が、財政再建の第一歩を踏み出した。再建の急務が、財政再建の第一歩を踏み出した。再建の急務が、財政再建の第一歩を踏み出した。

5カ年のきびしい内容

計画期間を五年設定。人員削減と削減の抑制、再建の急務が、財政再建の第一歩を踏み出した。

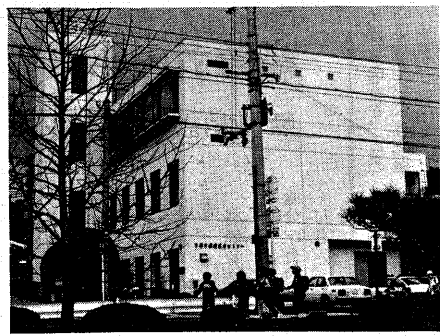
さらに計画的行政財政を

宇治市長 池本正夫 住んでいただくために、市財政の健全化を進めていく。計画期間を二年短縮して赤字解消、将来に明るい展望を開きました。



54年度

54年度は、再建計画の第一歩を踏み出した。計画期間を二年短縮して赤字解消、将来に明るい展望を開きました。



苦しい中でも市民要望を実現(54年度に保健医療センター)

55年度

55年度は、再建計画の第一歩を踏み出した。計画期間を二年短縮して赤字解消、将来に明るい展望を開きました。

55年度は、再建計画の第一歩を踏み出した。計画期間を二年短縮して赤字解消、将来に明るい展望を開きました。

55年度は、再建計画の第一歩を踏み出した。計画期間を二年短縮して赤字解消、将来に明るい展望を開きました。

母子家庭

母親に医療費を助成

5月1日から申請受付

市では現在、福祉費の一環として、母子家庭に対する福祉医療費の助成事業を実施しているが、七月一日から適用範囲が拡大され、母親対象者となる。

光化学スモッグ

25日から監視体制に

日差しをたたく強さ、光化学スモッグの発生しやすい季節となりました。京都府宇治市では、四月二十五日から光化学スモッグの監視体制に入ります。

身体障害者に郵便はがき

郵政省では、身体障害者福祉増進運動の一環として、郵便はがきを重点的に提供することとして、一人につき十枚を無料で配布します。

精神薄弱者介護用車両 駐禁除外制度が実施

京都府道路交通規則が改正され、精神薄弱者の介護用車両に対する駐禁除外規定が四月一日から実施

案内

軽自動車税納税証明 車検に必要

軽自動車税納税証明は、車検に必要です。納税済みの軽自動車は、車検を受ける際に、納税証明書を提出する必要があります。

募集

育成学級指導員

宇治市教育委員会では、育成学級指導員を募集しています。興味のある方は、お申し込みください。

催し

市民スポーツ ひろばデー

市民のみなさん、気軽にスポーツを楽しんでください。ひろばデーは、毎月開催されています。

市中のタレ巻揚げは、納税通知書をお知らせします。また、ラッシュアワーでも納税されるようになっていきます。

納税通知書は、納税通知書(納付書)の右側に、ラッシュアワーでも納税されるようになっていきます。

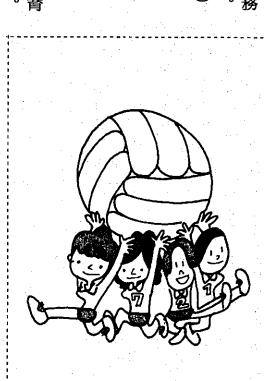
水道は、運転中に手書きされたため、甲安通に開栓出来ない場合があります。

▼昭和56年4月2日 以降に生まれた女子で、高校卒業後は同様の学力を有する者(人数：若名)申込み、14日まで、市販の履歴書、甲安通を添えて、社会教育課へお申し込みください。

高齢者の求職 無料相談の利用を

宇治市社会福祉協議会では、毎月第三木曜日の午前10時から午後3時まで、市役所分庁舎で、高齢者無料職業紹介相談を行っています。

第28回「読書週間」5月1日～14日



宇治市教育委員会では、育成学級指導員を募集しています。興味のある方は、お申し込みください。



宇治川右岸の聖徳寺入口近や琴坂で、やまぶきが黄金色の花を咲かせています。宇治川畔一帯に自生するやまぶきは、中世の文人が選んだ宇治十二景に「春岸の山吹」としてあげられています。

市民図書館・開室15周年 記念講演会

松谷みよ子さんを迎えて

市民図書館では、開室15周年を記念して講演会を開きます。現在、市民図書館は市民の皆さんの本拠として、図書貸出し冊数も増加の一途をたどり、職員一同うれい悲鳴をあげています。

「龍の子太郎」で、わが国初の国際アンタルセン賞・優良賞に輝き、「赤ちゃんの本」や「モモちゃんシリーズ」など数々の名作を生みだしている、わが国児童文学界の第1人者。

市では、宇治市政だよりの新刊誌「市民だより」の配布を、四月十一日から再開いたします。